

# 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課長名：沖縄総合事務局開発建設部建設

担当課長名：竹富信也

事業名	都市計画道路 <small>みやひらがっこうせん</small> 宮平学校線（1工区）		事業区分	街路	事業主体	沖縄県南風原町
起終点	おきなわしまじりはえばるかねぐすく 自：沖縄県島尻郡南風原町兼城 おきなわしまじりはえばるみやひら 至：沖縄県島尻郡南風原町宮平			延長	0.942km	
事業概要	当該路線は、都市計画道路3・3・18号南風原中央線（宜野湾南風原線）を起点に、3・4・2号国道329号に至る全長約942mの幹線街路である。沿線に幼稚園、中学校、文化センター、公園を含む街路である。					
H11年度事業化	H10年度都市計画決定（H19年度変更）	H12年度用地着手	H13年度工事着手			
全体事業費	約48億円	事業進捗率	73%	供用済延長	0km	
計画交通量	7,500台/日					
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年		
	(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	平成20年		
	1.2	11/51億円	61/61億円			
	(残事業)	事業費：11/51億円 維持管理費：0.01/0.01億円	走行時間短縮便益：54/54億円 走行費用減少便益：6.0/6.0億円 交通事故減少便益：1.4/1.4億円			
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 事業費変動：B/C = 4.9（事業費 + 10%）      事業変動：B/C = 6.0（事業費 - 10%）					
事業の効果等	・ 国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・ 個性ある地域の形成（拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大型イベントを支援する） ・ 災害への備え（幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する） 他5項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見	宮平学校線は、細街路からなる道路で、かつ小学校・中学校生の通学路となっており、地域住民や、細街路を通過する交通が多く交通事故の危険性が高いことから、歩車道分離の道路整備の必要性が高く、早期整備を求められている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成19年9月南風原中央線都市計画決定変更平成13年1月那覇空港自動車道側道の町道への移管等					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地買収率87%、工事の進捗は73%で部分的に供用されている所は、小中学生の通学路として安全が確保されている。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	国道329号との取付けにおいて関係機関との調整に時間を要し都市計画決定等が遅れ事業化し進めることが出来ず国道取付けが未完成のままの状態となっている。また、事業費の町財政負担が厳しく計画的に予算付けが出来ない中、物件補償力所が多数あり交渉に時間を要した。H25年度には完成の見込みである。					
施設の構造や工法の変更等	再生材の使用により、資源の有効活用を図る					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものである。